

平成29年度 京都市立桃山南小学校学校経営方針

京都市 学校教育の重点

目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

重視する視点

- ・子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。
- ・全教職員が、「社会に開かれた教育課程」、「カリキュラム・マネジメント」、「主体的・対話的で深い学び」等を柱とする次期学習指導要領の内容についての理解を深め、日々の教育実践との関連を意識した取組を進める。

学校教育目標

心豊かに未来を拓く、心身ともにたくましい子



目指す学校像

～学校への誇りを～

- ・日々の活動が、充実感や満足感につながる学校
- ・目指すものが身边にある学校
- ・豊かな自然や地域の力を生かせる学校
- ・一人一人が認められ、誰もが楽しく生活できる学校
- ・安全で安心して通える学校

目指す子どもの姿

- 将来の夢のために今努力を惜しまない子
- 自分の判断で行動する子
- 自信に満ちた前向きな子
- 思いやりの心をもって共に生きる子

目指す教職員像

～何事にもていねいに～

- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・子どものよき手本となる教職員
- ・自分の役割を理解し、組織を支え、互いに高め合う教職員
- ・より良い人間関係を築き、誰からも信頼される教職員



◎今年度の重点的取組

- ・健全なる自尊心の育成（自己有用感を高める活動の重視）
- ・授業改善（主体的・対話的な深い学びへの転換⇒学力の向上）
- ・規範意識の育成（目標の重点化と共に理解）
- ・学校運営協議会の充実（実効的な組織作りと教職員の積極的な参画）

具体的方策

「確かな学力・豊かな心・健やかな体の 調和のとれた育成」に向けて

◆確かな学力の育成

- ・授業の充実（学習規律の定着、誰もが「わかる」「できる」を実感できる授業、問題解決的な学習や探究活動の充実）
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得（指導事項の確実な定着、帯時間の有効活用、家庭学習の充実）
- ・つけたい力を明確にした言語活動の充実（国語科を中心とする校内研究の充実、小中で連携した探究活動の取組）
- ・グローバル化時代に対応する実践的な英語力の育成（全学年での外国語活動の取組）
- ・理数教育の充実（理科TTや少人数指導の実施）
- ・支援を必要とする子どもの学力向上（焦点化された授業、個別の指導計画の立案、通級教室の活用）

◆豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実（指導項目の重点化、子どもの実態に応じた授業の工夫、道徳強化月間、教科化・教科書の使用に向けての取組）
- ・豊かな感性・情操を育む教育の充実（体験活動を通した芸術や伝統文化への主体的な関わり、本校の自然を生かした取組）
- ・規範意識の育成（目標の重点化、統一された教職員の指導）
- ・支えあい高め合う集団づくりの推進と絆づくり（学校教育目標・学年目標の周知、子どもの目線に立った学級経営、いじめアンケート・クラスマネジメントシートの活用、愛校心の育成）

◆健やかな体の育成に向けて

- ・運動やスポーツの実践と体力の向上（体育科学習・部活動・体育的行事の充実、スポーツテストの実施）
- ・保健教育の充実（指導計画の充実、保健室との連携）
- ・食に関する指導の推進（食育指導の推進、給食週間の取組）
- ・安全教育の充実（計画的な安全指導、「自分の命は自分で守る」）
- ・防災教育・防災管理の充実（危機管理意識の高揚、様々な場面での避難訓練の実施）